

令和4年(2022年)

「安全安心なまちづくりの日」道民の集い

開催結果報告書

北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議

日時 令和4年(2022年)10月11日(火) 13:35~15:45 (休憩 14:40~5分間)

場所 かでる2・7 [かでるホール] (札幌市中央区北2条西7丁目)

— 次第 —

1. 開会
2. 主催者挨拶
(1) 北海道知事 鈴木直道
(2) 北海道警察本部長 鈴木信弘
3. 来賓祝辞
北海道議会 環境生活委員長 阿知良寛美
4. 表彰
(1) 佐藤 源五郎 様 (札幌市)
(2) 株式会社エフエムもえる (留萌市)
(3) 帯広市防犯協会西帯広ニュータウン支部 (帯広市)
5. 防犯アプリ完成披露会
北海道警察本部生活安全部生活安全企画課
6. 活動事例発表
(1) 帯広市防犯協会西帯広ニュータウン支部
(2) 株式会社エフエムもえる
(3) 佐藤 源五郎 様
7. 基調講演
「体と心の健康で安全なくらし」
講師 フリーアナウンサー・野菜ソムリエプロ 佐藤麻美
8. 閉会

みんなで築こう、安全で安心な大地
安全安心
どさんこ運動
令和4年(2022年)「安全安心なまちづくりの日」
道民の集い

日時 10月11日(火)13:30~15:30(開場13:00)
場所 かでる2・7(かでるホール)札幌市中央区北2条西7

1 挨拶
北海道知事、北海道警察本部長、
北海道議会議員
2 表彰(北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞)
3 防犯アプリ完成披露会
4 活動事例発表
5 基調講演
テーマ「体と心の健康で安全なくらし」
講師 フリーアナウンサー・野菜ソムリエプロ
佐藤麻美(さとう まみ)氏 講師 佐藤麻美氏

入場無料
要事前申込(先着順・定員200名)
※10月4日(火)締切

【申込み方法】Web申込み(①②のいずれか)
① おのQRコードから読み込む
② 申込フォーム
<https://www.happ.jp/hq/v-by6>
にアクセス

主催 北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議
お問い合わせ先 北海道環境生活部くらし安全局道民生活課 電話011-206-0142

※ 司会 高橋弥子 ((株)MC ミュース)

(事務局)

北海道環境生活部くらし安全局道民生活課

北海道警察本部生活安全部生活安全企画課

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課

1. 開会



司会) ただいまより、令和4年安全安心なまちづくりの日道民の集いを開催いたします。

この集いは、本日10月11日から20日までの10日間に実施される全国地域安全運動の一環として、鈴木直道北海道知事が会長を務めます北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議が主催するものでございます。

それでは、主催者、御来賓の皆様を御紹介いたします。

はじめに主催者でございます。

北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議会長、北海道知事、鈴木直道でございます。



続きまして、副会長の北海道警察本部長、鈴木信弘でございます。



同じく、北海道教育委員会教育長の代理で学校教育監、唐川智幸でございます。



同じく、札幌市長の代理で副市長、石川敏也でございます。



同じく、公益財団法人北海道防犯協会連合会理事長、五十嵐敏明でございます。



同じく、北海道PTA連合会会長、菊川哲平でございます。



続きまして、御来賓の方を御紹介いたします。

北海道議会環境生活委員長、阿知良寛美様でございます。



続きまして、北海道公安委員会委員長、吉本淳一様でございます。



2. 主催者挨拶

司会) それでは、主催者を代表いたしまして、鈴木直道北海道知事から御挨拶を申し上げます。鈴木知事、お願いいたします。

鈴木知事) ただいま御紹介いただきました北海道知事の鈴木直道でございます。



令和4年安全安心なまちづくりの日道民の集いの開催に当たりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

御来賓の北海道議会環境生活委員会の阿知良委員長、北海道公安委員会の吉本委員長におかれましては、大変お忙しい中御出席をいただき、厚くお礼を申し上げます。

また、お集まりの皆様には、日頃から安全で安心な地域づくりの推進に格別なる御理解と御協力を賜っておりますことに、この場をお借りし厚く感謝を申し上げます。皆様、本当にありがとうございます。

また、この度、表彰を受けられる皆様には、それぞれの地域におきまして長きに渡って献身的な防犯活動に取り組まれてこられたことに深く敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。

本道におきます犯罪の認知件数でございますけれども、これまで減少傾向ということであったわけではありますが、本年に入って増加傾向が見られます。

特殊詐欺、子供・女性を狙った犯罪など、道民の皆様の不安を助長する事件が後を絶ちません。特に特殊詐欺の被害額につきましては、本年6月末時点におきまして既に昨年の1年間の被害総額を上回るという深刻な状況になっているところであります。

犯罪を未然に防いでいく、そのためには道民の皆様、お一人おひとりが安全への意識を高めるとともに、地域が一体となって防犯活動に取り組み、“犯罪が発生しにくい、そういう地域づくりを進めていく”、このことが重要でございます。

本日から20日までの10日間、全国地域安全運動が実施されます。

道では、安全・安心どさんこ運動の推進をはじめ、特殊詐欺被害に遭いやすい高齢者の方や子供・女性に対する注意喚起など、道民の皆様や関係機関、団体の皆様と一体となって安全で安心な地域づくりの実現に向けて取り組んで参ります。

お集まりいただきました皆様におかれましても、本日の集いを契機といたしまして、“あいさつ・見まもり・助けあい”、この精神のもと、それぞれのお立場で積極的な取り組みをお願いいたします。

結びに、皆様のますますの御健勝と御活躍を祈念を申し上げて、簡単でございますけれども御挨拶に代えさせていただきます。本日は皆様ありがとうございます。

司会) 続きまして、鈴木信弘北海道警察本部長から御挨拶を申し上げます。鈴木警察本部長お願いいたします。

鈴木道警本部長) ただいま御紹介いただきました北海道警察本部長の鈴木でございます。



本日は公私ともにお忙しい中、御来賓であります北海道議会環境生活委員長、阿知良様、北海道公安委員会委員長、吉本様をはじめ、多くの皆様に御参加をいただき、この集い盛会に開催できますことに心から感謝を申し上げます。

また、皆様におかれましては、地域の安全安心のための活動に御尽力されていることはもとより、警察行政各般にわたり御理解と御協力をいただいておりますことにこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

さて、道内の治安情勢についてであります。本年9月末における刑法犯認知件数は約1万4,400件で、昨年同期と比べプラス約470件と、平成15年から続く犯罪の減少傾向に陰りが生じており、特に特殊詐欺の被害は、認知件数、被害額ともに昨年を大幅に増加しているほか、子供や女性を担った犯罪も後を絶たず依然として厳しい状況が続いております。

このような中、本日から始まります地域安全運動では、特殊詐欺の被害防止、子供と女性の犯罪被害防止の2点を運動重点として掲げ、自治体や事業者、防犯団体等の幅広い層の方々と連携し、地域安全活動を集中的に実施することとしており、道警察におきましても、お金を要求するなどの不審な電話がかかってきた際、気軽に警察に相談していただけるよう“詐欺電話がきたら#9110”という警察相談ダイヤルを案内するわかりやすいキャッチフレーズを用いて周知を図る取り組みや、高齢者に伝わりやすい広報啓発を推進して参ります。

また、子供と女性の犯罪被害防止につきましても、登下校時間帯における警戒やパトロール活動を強化するほか、公共交通機関等の関係事業者と連携して盗撮や痴漢等の性被害防止に向けた警戒、広報啓発を推進して参ります。

皆様におかれましても、引き続きそれぞれの地域やお立場で地域の安全安心の確保に向けた活動に御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日お集まりの皆様のご今後の御多幸と御健勝を心から祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

3. 来賓祝辞

司会) 続きまして、御来賓を代表いたしまして、北海道議会環境生活委員長、阿知良寛美様より御祝辞をいただきます。阿知良様、お願いいたします。

阿知良環境生活委員長) ただいま御紹介いただきました北海道議会環境生活委員長の阿知良でございます。



本来であれば小畑議長が出席をさせていただいて、日頃の皆様の活動に敬意を表し、感謝とお礼の言葉を述べるところでございますが、あいにく他の業務と重なりましたので出席がかなわず、代わりまして私から一言、御挨拶申し上げます。

本日お集まりの皆様方におかれましては、日頃から地域における防犯活動に多大なる御尽力をいただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、厚く御礼申し上げます。

また、各地域におきまして犯罪のない安全で安心な地域づくりに率先して取り組まれ、本日、表彰を受けられる皆様に心からお祝い

を申し上げます。

さて、安全に安心して暮らせることは道民すべての願い、犯罪のない地域社会の実現は道民生活や社会経済発展の基盤となるものであります。しかしながら、さきほども鈴木知事や鈴木道警本部長からの御挨拶にもございましたが、減少傾向にありました道内の犯罪の認知件数が増加傾向に転じているほか、高齢者を狙った特殊詐欺やサイバー空間における犯罪、女性や子供に対する犯罪などは後を絶たず、痛ましい事件に繋がるケースも少なくありません。

このため、道民一人おひとりがしっかりとした防犯意識をお持ちいただき、警察や行政から発信される防犯情報に耳を傾けていただくことはもとより、行政機関、事業者、関係団体が協力して犯罪防止のための活動に積極的に取り組み、犯罪が発生しにくい地域づくりを行っていくことは大変重要であります。

私ども北海道議会といたしましても、関係機関の皆様との連携を一層深め、この北海道が道民にとっても、また、北海道を訪れる人にとっても、犯罪のない安全で安心な地域となり、道民の皆様が安心して笑顔で暮らせることのできる地域社会の実現に向けて、全力を挙げて取り組んで参る決意でございますので、皆様におかれましても引き続き御尽力いただきますようお願いいたします。

結びとなりますが、本日お集まりの皆様は今後ますますの御健勝と御活躍を心から御祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

司会) 阿知良様、ありがとうございました。

4. 表彰

司会) 続きまして、プログラム2、令和4年度北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞の表彰式を行います。

舞台の準備がございますので、今少しお待ちください。

(舞台転換)

この北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞は、犯罪のない安全で安心な地域づくりに関する自主的な活動や先駆的な取り組み

などを行い、他の模範となる顕著な功績があった個人や団体、事業者の方々を北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり条例に基づきまして表彰するものでございます。

今年度受賞されますのは、滝川市の西地区子ども見まもり隊様、札幌市の佐藤源五郎様、留萌市の株式会社エフエムもえる様、帯広市の帯広市防犯協会西帯広ニュータウン支部様でございます。

それぞれの地域におけるパトロール活動や防犯環境の整備、防犯活動の普及促進など、安全で安心な地域づくりに特に御功績が認められた方々でございます。

今回受賞されました方々の活動などにつきましては、受付でお配りしました表彰のしおりを御覧いただきますとともに、この後に活動事例発表としてお話していただく予定ですので、この場での御紹介は省略とさせていただきます。

なお、本日、滝川市の西地区子ども見まもり隊様におかれましては御都合により御欠席されており、後日、賞状の贈呈を行う予定としております。

お待たせいたしました。それでは受賞者の方々が御入場されます。皆様大きな拍手でお迎えください。

(受賞者入場)

それではこれより、北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議会長、鈴木知事から受賞者の皆様に賞状を贈呈いたします。

鈴木知事は舞台中央へお進みください。

(鈴木知事、舞台中央に移動)

はじめに、札幌市、佐藤源五郎様、前へお進みください。



鈴木知事) 北海道犯罪のない安全で安心な地

域づくり賞、佐藤源五郎様。貴方は長年にわたりクリーン薄野推進協議会の一員として活動され、協議会の会長に就任後は、強いリーダーシップを発揮されて地元愛と創意工夫に溢れた活動実践されるなど、安全で安心な地域づくりに貢献されました。ここにその功績をたたえ表彰します。令和4年10月11日、北海道知事、鈴木直道。



司会) 続きまして、留萌市、株式会社エフエムもえる様、前へお進みください。



鈴木知事) 北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞、株式会社エフエムもえる様。貴社は、マチの聴こえる回覧板をコンセプトとしたFM放送を通じて、防犯などの地域安全情報を適時に発信され、住民の犯罪に対する抵抗力の強化に大きな役割を果たされるなど、安全で安心な地域づくりに貢献されました。ここにその功績をたたえ表彰します。令和4年10月11日、北海道知事、鈴木直道。



司会) 続きまして、帯広市防犯協会西帯広ニュータウン支部様、前へお進みください。



鈴木知事) 北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞、帯広市防犯協会西帯広ニュータウン支部様。貴団体は、長年にわたり巡回パトロールや子供の見守りのほか、街頭啓発などの幅広い防犯活動を官民連携により継続的に実践して、地域住民の自主防犯意識の高揚を図るなど、安全で安心な地域づくりに貢献されました。ここにその功績をたたえ表彰します。令和4年10月11日、北海道知事、鈴木直道。



司会) 賞状の贈呈は以上となります。鈴木知事はお席にをお戻りください。

受賞されました皆様方、おめでとうございます。いま一度、大きな拍手をお願いいたします。

受賞者の方々及び主催者、御来賓の皆様は、この後、記念写真撮影がございますので別室への移動をお願いいたします。

それでは、舞台の準備がございますので今少しお待ちください。

(舞台転換)

5. 防犯アプリ完成披露会



司会) お待たせいたしました。それではプログラム 3、防犯アプリ完成披露会に移りたいと思います。

このアプリは、身近なエリアで発生している犯罪、不審者、特殊詐欺の情報などを提供することにより、利用者の自主防犯意識を高め、犯罪被害の未然防止を図ることを目的として北海道警察本部が製作したものでございます。

御紹介いたしますのは、北海道警察本部生活安全部生活安全企画課、篠田課長補佐でございます。それでは篠田様、お願いいたします。

篠田課長補佐) 本日は北海道警察が提供いたします防犯アプリケーション“ほくとポリス”の完成の御報告と機能の御紹介をさせていただきます。

私は北海道警察本部生活安全企画課の篠田と申します。どうかよろしくお願ひいたします。



今やスマートフォンやタブレットというのは、我々のとても身近なツールとして利用されているところであります。総務省の統計で言いますと、世帯の約9割のうちの誰かがスマートフォンをお持ちであるという結果が出

ているところであります。

さきほど知事からのお話もありましたとおり、一人ひとりが防犯や安全、安心の意識を持って行動していただく、これが犯罪の被害に遭わないということには極めて重要なことであります。



“ほくとポリス”は、皆さんの身近な存在であるスマートフォン、タブレットで犯罪や不審者、特殊詐欺の情報を配信するほか、防犯ブザーやちかん対策機能、そのほか警察署へのルート検索や、防犯パトロールの支援機能というのを盛り込んで作らせていただきました。皆さん、是非、お持ちのスマートフォン、若しくは御家族の方にもインストールをして犯罪や特殊詐欺の情報を入手して防犯対策に活かしていただければと思っています。本日よりインストールできますので、どうかよろしくお願ひをいたします。

それでは、せっかくの機会ですので、機能の説明をさせていただきます。



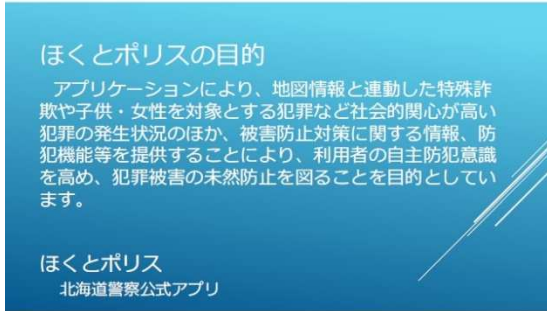
今、表(スクリーン)に“ほくとポリス”の仕様、機能の概略を表示させていただきます。

スマートフォン、タブレットで ios や Android で利用可能になっています。

機能をざっくり言いますと、犯罪マップや不審者マップ、特殊詐欺マップの3つのマップが表示されます。そのほかちかん対策防犯

ブザー、110番通報が迅速にできるようなアイコンも設置しています。

また、御家族の方と現在の位置情報を共有できる位置情報送信機能や、防犯パトロールをした時に自分が何時から何時まで、どの経路を通ったのかということが端末に保存できるような機能も備えておりますので、是非、御活用していただければと考えております。



まず、「ほくとポリス」の運用の目的ですが、防犯意識を持つためには、北海道内でどのような犯罪やどのような詐欺が発生しているのかを知ることが重要であります。新聞やテレビ等でも報道されておりますけれども、文書や音声といったものについては一度見るとその時は「気を付けよう」と感じますが、日数が経ってしまうと記憶が薄まってしまっ、防犯意識についてもどんどん薄れてしまうのではないのでしょうか。ですが、アプリであればいつも手元にあるスマートフォンの地図情報で自分の近くではどのような犯罪が起きているのか、その対策、被害に遭わないためにはどのような行動をとればいいのかということがわかり、皆さんもそれに基づいて行動ができるのではないのでしょうか。そういうことを目的として今回、防犯アプリというものを作らせていただきました。



(正面にあります)犯罪マップであります。これは、北海道内のどこでどのような犯罪が

発生しているのかということがピン表示で表示されることになっております。表示する犯罪は全てではなく、ここに表示されております10種類の犯罪となっております。後で実際のものを見ていただきますけれども、このような形で自分のいる場所や自分の住んでいる場所の周りではどのような犯罪が発生しているのか、また、この赤いところには自転車盗に遭わないためにはどうしたら良いとか、車上ねらいに遭わないためにはどうしたら良いか、というようなアドバイスも書いています。



次に、不審者マップであります。これは北海道内で発生しています子供に対する声かけやつきまとい事案、また、女性に対する犯罪等も表示をしております。

これは各警察署や北海道警察が配信しています「ほくとくん防犯メール」で配信した事案を、この地図上に反映しております。

自分のいる周囲でどのような不審者の通報があるのか、是非、情報を子供さんやお孫さん、また近隣の方とも共有をしていただいて、危ないものには近づかない、「いかのおすし」を子供に教えるというようなことに活用していただければと思っています。



次に、特殊詐欺マップであります。こちらもさきほどのマップと同じように、北海道内で発生しております特殊詐欺の情報が地図情

報と一緒に表示されます。

こちらは、各区または各市町村ごとに、これまでどのような手口の特殊詐欺が何件発生しているかということが表示されます。

また、そのほか、防犯メールで配信されま
す特殊詐欺の予兆情報や、実際の発生情報等
を詳細に表示することが可能となっています。
自分の住んでいる場所ではどのような詐欺が
あるということを理解していただく一助とし
ていただければと思います。

続きまして、実際に不審者やちかんに遭っ
た時のため、防犯ブザー機能、ちかん対策機
能を説明します。



こちらはスマートフォンのアプリ上で音が
鳴る防犯ブザー、そして、もし、痴漢をされ
た時に周りに助けをを求めるちかん対策機能と
いうものを設けております。

不審者に遭って逃げなければならない状況
があった若しくはすぐに誰かに助けを求めな
ければならないといった時は、防犯ブザー機
能を使って周りに助けを求めていただければ
と思っています。

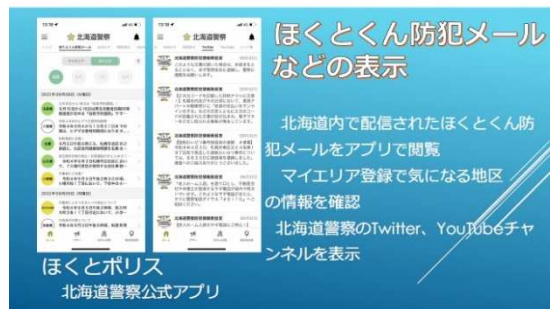
また、こちらには、下側に110番をする機
能があります。タップすることによって通常
の電話回線で110番をするという機能ですけ
れども、もし、すぐに警察を呼ばなければな
らないという時には、このアプリから110番
することができますので、是非、御活用して

いただいて、速やかに警察に通報していただ
きたいと思います。



こちらは現在地送信機能と言いまして、ア
プリをお持ちの御家族の方と「ここにいるよ」
とか、簡単な4つのメッセージで連絡を取り
合う機能になっています。

例えば、街まで遊びに来てはぐれてしま
った時や子供が習い事に行って今から帰る
といった時に、この機能を使えば家族の方も
安心できるのではないかと考えています。是
非、現在地送信機能を御家族全員で入れてい
ただいて御活用していただきたいと思います。



そのほか、「ほくとくん防犯メール」を表示
する機能でありますとか、北海道警察の
Twitter もアプリ上で見ることができますの
で、是非、アプリで見いただければと思っ
てます。



次に、さきほど若干御説明しましたが、防

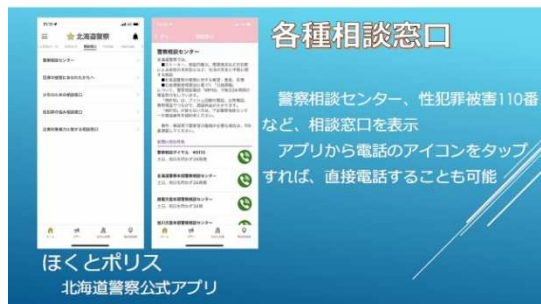
犯パトロールの支援機能というものが付いています。

こちらは、アプリの中で、防犯活動を始めた時にその時間と移動経路がGPS情報に基づいて記録されるという機能になっています。

皆様は、防犯ボランティア団体、見守り活動を推進されている方でいらっしゃると思いますが、この機能を利用すれば、実際に自分がどれだけの活動しているのかというのが記録されますので、活動報告の作成や日々の防犯パトロールに活用できるのではないかと思います。

また、一般の方もこれを使って、例えば買い物途中にこのアプリを起動しながら、こういうことに気を付けてパトロールをしていただくとか、通勤通学途中に何か不審なことがあったらすぐに110番しようというような意識を持っていただくためにこのような機能を設けております。

更に、この機能を使用して防犯パトロールをすることによって、時間によってポイントが貯まってきます。インストールした段階では、階級は（警察の階級を真似してるのですが、防犯パトロールをしてポイントを稼いで、そのポイントを使って昇任試験を受けることによってどんどん階級が上がっていくというアミューズメント機能も付いていますので、是非、利用していただいて、警視監、警察本部長を目指していただければと思います。



そのほか、警察署、交番などのルート検索機能や各種相談窓口の表示機能もありますので、是非、御活用していただければと思います。

最後に、実際に防犯アプリというものはどういうものかを見ていただきたいと思いますので、前（スクリーン）を御覧ください。

これは、今日リリースされ、私の携帯にインストールしたものになっています。

まず、犯罪マップについては、今現在いる場所が青いポイントで、周りが実際に発生した犯罪ということになっています。こちらはこの付近で自転車盗が多発している状況ですので、自転車で来られている方、2ロックは大丈夫でしょうか？防犯登録はしているでしょうか？こういうことを気にしながら行動していただきたいと思います。

また、これは自分の居場所ではなくて、例えば自分の住んでるところの近く、こういうところも見ることが可能です。自分の家の周りではどのような犯罪が発生しているのか？こういうこともよく見ていただければと思います。また、旅行の行き先地も行く前にこのアプリを使って見ていただければ防犯対策にもなると思います。

こちらが不審者マップになっています。このような形で表示されますけれども、例えば出先の息子さん、娘さんに「気をつけなさい」、「これだけ発生してますよ」ということも、これを見ながら説明すると子供さん、お孫さんにも意識付けになるのではないのでしょうか。

こちらが特殊詐欺の情報になっております。今、札幌市で表示しておりますけれども、このように各区ごと件数が表示されています。東区ではオレオレ詐欺が5件、キャッシュカード詐欺が1件、わずか3ヶ月の間にこれだけの特殊詐欺が発生しているということですので、身近に感じていただいて、みんなで話題にいただき、防犯対策をしていただきたいと思います。

なかなか全ての機能、このお話をさせていただくと1時間から2時間かかってしまうので、最後に防犯パトロール機能がどのような形で表示されるのかというところを見ていきたいと思います。

こちらが防犯パトロールの最初の画面ですけれども、こちらの防犯パトロールの開始ボタンを押せばパトロールが開始されて、スマー

トフォンを持ちながら歩いていただければ、どれだけ歩いたかというのが表示されるというような機能になっております。

今日、私が朝通勤の時に実際にやってきたところ、バス、地下鉄で移動したものですからうまく情報取得できなかった部分もあるのですが、こういうような形で実際に通った経路がこの端末上に保存されて、時間が何時から何時までというような形で表示されます。活動報告等に御活用していただければと思っております。

また、こちらの画面では、今、私の階級は巡査という形になってはいますが、これが昇任試験を受けて合格すれば、どんどん階級は上がっていきますので、北海道警察の一番上の階級は警視監になっておりますので、警視監を目指して防犯パトロールしていただいて地域の安全と安心に役立てていただければと思っております。



ざっくりと御説明をさせていただきました。本日“ほくとポリス”をリリースしております。アップルストア、Google Playストアどちらでもインストール可能ですので、スマートフォンをお持ちの方は是非インストールして、実際に御活用をお願いします。



また、御家族や職場の方にもお話をさせていただいて、皆さんで正しい情報を得て正しい防犯対策をして、北海道の安全で安心なまち

づくりに御協力をしていただければと思います。今日はどうもありがとうございました。

司会) 篠田様、ありがとうございました。いま一度、大きな拍手をお願いいたします。

今年は女性や子供に関わる犯罪も多いと聞いていますので、私も早速入れていこうと思いました。

本日会場にお越しの皆様も是非、御家族でこのアプリを御活用いただきますようよろしくお祈りをいたします。

6. 活動事例発表

司会) 続きまして、プログラム 4、活動事例発表に移らせていただきます。

さきほど北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞を受賞されました皆様方から、地域で実践されております防犯活動の概要などにつきまして発表をしていただきます。

はじめに、帯広市防犯協会西帯広ニュータウン支部様、御発表をお願いいたします。

帯広市防犯協会西帯広ニュータウン支部 新津氏) 帯広市防犯協会西帯広ニュータウン支部の新津と申します。よろしくお祈りをいたします。



この度、令和4年度北海道の犯罪のない安全で安心な地域づくり賞をいただき、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、私ども帯広市防犯協会西帯広ニュータウン支部は、西帯広ニュータウン団地の造成に伴い急激に人口が増加したため、昭和63年5月に帯広市防犯協会西帯広支部から分離して設立されました。

運営は西帯広ニュータウン連合会に加盟する町内会の防犯委員及び各町内会長より推薦された委員で行っております。

西帯広ニュータウン地区は大型商業施設が

立ち並ぶ世帯数 3,400、人口約 8,000 人の振興住宅地であります。

中心部には小学校 2 校、中学校、高等学校があり、緑地化された都市計画道路と西帯広近隣公園に隣接しており、死角となるような危険箇所が数多く点在しております。

危険箇所を定期的に調査し、のぼりを毎年設置しております。また、青少年の健全育成に向けた登下校時の見守り運動を重点に青色回転灯装備車による防犯パトロールを継続して実施しております。

毎年実施される春、秋の全国地域安全運動期間中には、青色回転灯の装備車両の台数を増やしましてパトロールを行っております。

コロナがまん延してからは、毎年定期的に開催していた各町内会を対象にした防犯診断及び街頭啓発活動は中止せざるをえなかったため、月曜日から金曜日まで毎日曜日ごとの当番を決めまして、青色回転灯装備車両の防犯パトロールを重点的に行っております。時間帯は 14 時から 17 時の間、約 30 分程度の見守り活動を実施しております。

現在、当支部では青色回転灯装備車両が 7 台登録しております。また、小学校の夏休み期間中には、コロナまん延前には夜間に西帯広公園及び児童公園、人通りの少ない通りの道路を重点的に週 2 回程度、徒歩によるパトロールなっておりましたが、コロナまん延後は、夜間においても目立ちやすく、活動が認知されやすく、効果的な青色回転灯装備車両による防犯パトロールを実施しております。

今後の活動といたしましては、青少年による犯罪、事故防止のための巡視及び啓蒙活動の継続、地区内の小中学校と連携しまして、死角となるような危険箇所の把握と見守り活動の強化を図ることを行います。

また、帯広警察署が考案されましたながら見守りというのがありますので、これを積極的に活用していきたいと思っております。以上でございます。

司会) ありがとうございます。

続きまして、留萌市の株式会社エフエムもえる様、御発表をお願いいたします。

株式会社エフエムもえる 佐藤氏) 留萌市にありますエフエムもえるの佐藤でございます。

今日は栄誉ある表彰を賜り、誠にありがとうございます。



弊社エフエムもえるは、地域コミュニティラジオ放送局です。この放送局というのは、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、1自治体に1放送局の設置が認められておりまして、日々、地域情報を地域に向けて、きめ細やかで小回りのきく情報を放送しております。

全国に今、約 340 局ほどありまして、この制度が始まりましてから、今年でちょうど 30 年ですね、迎えております。札幌にも西区の三角山放送局さんですとか、豊平区の FM アップルさんとかがありますので、皆さん御承知かなと思います。

いわゆる普通のラジオで聞けるラジオ局ということになりますけれども、コミュニティ放送局の多くは地域住民が関わることが非常に多く、よく市民参加型と言われておりますが、さきほど我が社のキャッチフレーズであります“マチの聴こえる回覧板”とありまして、弊社エフエムもえるは、それを更に一歩進めた形で市民主体型を構築して参りました。

市民ボランティアが単に放送を受け持つだけではなく、ボランティアネットワーク運営委員会が中心になりまして放送局の運営を行う方式です。会社は経営側面の責任を負う形で、番組編成なども運営委員会が中心となって検討しながら決めていくという運営体制です。

もちろん放送番組も皆さんに受け持っていていただいております。開局当初の 18 年前から約 100 名程度の市民のパーソナリティの方達

が、今は小学3年生から80代の市民の方達までが町の話、学校の話、音楽、趣味の話、また特に自分の得意な分野のお話をかなりクオリティの高い番組の制作、放送をされています、(右の写真ですけれども) 地元の米農家さんの人達が地元の農業現場から伝えるという趣旨の農業バラエティ番組ということで、毎週多くの方達が巡り順で放送していて、非常に人気の高い番組です。

行政機関との連携で地域の安心安全を守る



留萌市や北海道留萌振興局、留萌警察署さんと防犯協定を結んでおります。昨年は弊社と留萌市の防災行政無線との連動ががちり行われまして、これに併せて緊急告知ラジオを留萌市から配信をしております。また、昼夜問わず消防署から割り込みができる割込装置を導入しまして、これも毎月放送訓練を行っているところです。

この度、表彰いただくきっかけとなりました留萌警察署さんとの協力番組が第1火曜日、午前9時5分から15分までの10分間ですけれども、コーナーで“萌(ほう)セイバー”という番組です。出演されるのは留萌警察署員の方達で、内容につきましては、交通安全の啓発ですとか特殊詐欺を未然に防ぐための情報などを発信してるのですけれども、この番組は留萌警察署さんから御提案をいただいて始まったものでございます。

遡ること10年前にですね、2012年に誕生しました留萌警察署のオリジナルキャラクター“萌(ほう)セイバー”なるものが番組に出演するという企画が始まりまして、少しでも多く、広く、たくさんの住民へ届くよう知恵を絞ったアイデア企画と考えております。

それ以前より、行方不明者の捜索の協力事項、火災等に伴う交通規制や交通誘導の情報などは留萌警察署さんから情報をいただいて放送局独自に放送してるのですけれども、この番組が始まってからは、更に協力体制のもとで日常的なコミュニケーションが保たれ、

万が一の時の迅速で正確な対応が可能になったと自負しております。

また、弊社職員は交通安全アドバイザーとして日々、交通安全情報を発信しております。



最近はラジオを持っていない方も増えてきているということで、時代に合わせましてコミュニティ放送協会の協力で、スマホ専用アプリの“Radimo(レディモ)”を昨年開発リリースいたしました。

スマホでももちろん番組を聞けるのですけれども、同時にラジオ電波の難聴地域の解消もされるという優れものでして、“radiko”であるようにラジオを聞くものなのですけれども、もう一つ便利な機能がございまして、防災アプリとしても、防犯アプリとしても、文字情報の通知機能も付いています。

ラジオを聞き漏らしたり、そもそももえるを聞いていなかったり、スマホ画面を消しても、防災や避難情報、給水、配給、火事、そして防犯情報を受信することができます。

ダウンロードも無料です。さきほど“ほくとポリス”の発表を聞いて僕も早速入れようと思っていますけれども、併せまして皆さん是非、お試しいただければと思います。この“Radimo(レディモ)”を登録してる放送局もたくさんあります。アップルストア、グーグルストア両方でもダウンロードできます。

最後に、今年から企業との防災パートナーも始めております。防犯や防災に関しましては、“これだけやっておけば大丈夫”ということとは決してありません。「情報の伝達方法を可能な限り多層化してください」、これはいつもお願いをしているところです。誰も取り残すことのないように継続的に情報伝達に努めるとともに、留萌警察署さんのもとより、行政、市民、企業との普段から地域内の強い連携により、災害や犯罪に強い地域づくりにこれからも尽くして参りたいと考えております。御清聴ありがとうございました。

司会) ありがとうございます。留萌市の株式会社エフエムもえる様の発表でございました。

続きまして、札幌市の佐藤源五郎様、御発表をお願いいたします。

佐藤源五郎氏) ただいま御紹介いただきましたクリーン薄野推進協議会会長の佐藤源五郎でございます。



この度はこのような名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。この栄誉は当然のことながら私1人の力ではなく、クリーン薄野推進協議会の理念に賛同し、共に活動していただいている会員の方々や、地域の皆様方、関係機関、団体の方々の多大な御協力、御支援のおかげであり、皆様方には深く感謝申し上げます。

それでは、活動報告としてお話をさせていただきます。私はクリーン薄野推進協議会会員の一人として活動し、当協議会は薄野地区における暴力団の追放、悪質な客引きの排除、風俗営業の健全化などを目的として、週4回の青色回転灯車両によるパトロールやマイクによる啓発活動のほか、夏季、歳末期に啓発パレードなどを実施しております。

当協議会は、結成から45年、関東以北最大の歓楽街である薄野地区において、日々発生する諸課題に警察をはじめ、関係機関、団体や地元町内会などと連携を図り対処して参りました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症のまん延による未曾有の危機を迎え、薄野地区の様子も一変し、それに伴ってこれまでの問題がより一層際立って顕在化いたしました。

コロナ禍による外出自粛の最中、薄野地区には客引き、客待ちによる迷惑行為が後を絶たず、更には強引な客引きを行う者も出始めました。

当会はこのまま客引きを放置すれば、更な

る環境悪化に繋がるのではないかと考え、対策を講じることとしました。まずは、当会は札幌中央警察署と連携を図り、薄野地区の事業者や町内会等の協賛と竹中工務店の多大な御協力を得て、旧ラフィア解体工事現場の仮囲いに“客引きをしない、させない”、そして感染予防の徹底に関する大型広告を掲出するなど、薄野交差点を行き交う人に対し、客引きを利用しない、させないという機運の醸成を図りました。

また、当会として、ただいまお話した対策のほか、法制度の整備も必要と考えました。そのため、同じ問題に直面している狸小路地区、大通地区と協議、連携して、法制度の整備を後押しする“薄野・狸小路・大通地区安全安心まちづくり協議会”を結成し、地元住民の不安や声を集約して札幌市と話し合いを続け、条例制定について強く働きかけました。

その結果、皆さんも御承知のとおり、本年4月に札幌市客引き行為等の防止に関する条例が制定され、7月には全面施行されました。

未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、社会の疲弊に伴って色々な問題が発生、または顕在化しています。

今回、薄野地区では、警察をはじめ地元住民や関係機関、団体の皆様の多大な御協力をいただき薄野地区の問題に一定の対処することができました。ですが、これで終わったわけではなく、今後も皆様方と強く連携し、客引き防止の機運の高まりを維持して、条例を根付かせていくとともに、クリーンで明るく安全で安心な薄野地区を創るため、より一層活動して参りたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

司会) ありがとうございます。札幌市の佐藤源五郎様に御発表いただきました。

以上で、活動事例発表を終了とさせていただきます。

それでは、ここで2時45分までの間、休憩とさせていただきます。

お時間までにお席へお戻りいただきますようよろしくお願いいたします。

(5分間休憩)

司会) 皆様、それでは再開いたします。

7. 基調講演

司会) これよりプログラム 5、基調講演をいただきます。

本日、講師を務めていただきますのは、フリーアナウンサーで野菜ソムリエプロの佐藤麻美様でございます。

喋りの大先輩お手前で恐縮ではございますが、佐藤様のプロフィールを御紹介させていただきます。



佐藤様は、1998年からHTB北海道テレビのアナウンサーとしてご活躍されまして、御存知の方は多いかと思いますが、“おにぎりあたためますか”という番組では16年間にわたってMCを担当され、タレントの大泉洋さんと戸次重幸さんとともに全国を食べ歩き、その数は900軒にも上るとのことです。

2019年8月にテレビ局を退社されて、フリーアナウンサー転身後は、司会や講演会、トークショーのほか、CMやテレビ出演など多方面で御活躍をされており、“空知食の応援アンバサダー”や料理教室の開催など、食に関わる分野でも御活躍されております。

また、現在2人のお子様の母親として、幼児期から食に触れる機会を作り、“やりたいことはさせる”という好奇心の芽を摘まない子育てを実践されております。

今年7月には函館観光大使に就任され、生まれ故郷函館の魅力をYouTube番組などを通して発信もされております。

本日は“体と心の健康で安全なくらし”と題しまして御講演をいただきます。それでは佐藤麻美様、よろしくお願ひいたします。

講師 佐藤麻美様) 会場の皆様、こんにちは。御紹介いただきましたフリーアナウンサーの佐藤麻美と申します。



今日は“体と心の健康で安心なくらし”というタイトルでお話をさせていただきます。

さきほど篠田課長補佐から御案内がありました。“ほくとポリス”、早速、楽屋でダウンロードしてみました。犯罪マップを見て驚きましたね。自分の家からこの周辺を見てみたんですが、この自転車盗マークの多いこと、こんなに自転車の盗難があるんだということにも驚きましたし、自分の家の近くで侵入窃盗ですか、いわゆる空き巣ということですよ、があるんだということも驚きまして、普段生活をしているとやっぱり自分のすぐそこに危険はないような気がしてくるんですが、この犯罪マップを見るとすぐそこに危険があるということで、今日帰ったらですね、子供たちに早速このアプリを見せて、機会があれば一緒にパトロールで自分の家の周りを回ってみようかなというふうに思っております。

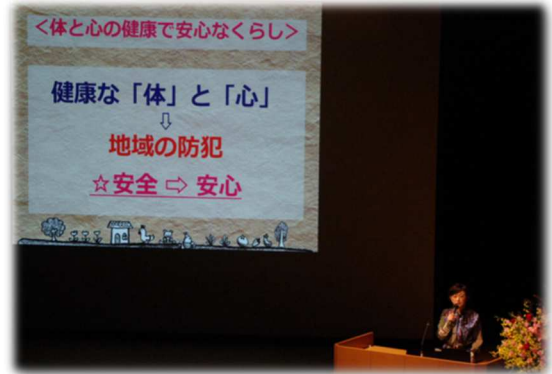
さきほど司会の方から紹介をいただきましたが、あらためて自己紹介をさせていただきます。

私、1975年、函館で生まれまして、名古屋の南山大学経済学部を卒業し、98年にHTB入社しました。アナウンサーで入社したんですが、その後、1人目の子供を出産した後に編成部というところに異動になりますけど、広報ですとか視聴率の仕事なんかをしていました。その後2人目を出産した後に2019年8月にHTBを退職し、フリー転身しております。

現在47歳で、息子が小学校4年生と来年1年生になる年長の2人を育てながら仕事をしています。男の子が2人いると本当に皆さん全然性格が違うっていう話をするんですが、我が家も御多分に漏れずそうでして、長男は非常に慎重派なんですけど、次男はですね、本当に左右を見ずに道路に飛び出してしまうような危険な子なんです。3、4歳の頃ですかね、私の化粧ポーチからマスカラを取り出し

て歯磨きをしていたことがありました。そのぐらい何をしでかすかわからない。ある時、私の財布から1万円札を取り出してくしゃくしゃに丸めてごみ箱に捨てたことがあったんですね。まさかと思って見て、何をしていたのかなと思ったら1万円を捨てていて、何んできて聞いたらお札はお金じゃないと思ってたんですね、お金はコインという感覚があったみたいで、そんな子供たちと格闘しながら日々過ごしております。

そして“おにぎりあたためますか”という番組で16年間、MCを担当したんですが、全国2周して本当にいろんなお店を御紹介させていただきました。“おにぎりあたためますか”見たことがあるという方はどのぐらいいらっしゃいますでしょうか？（ありがとうございます）今日はホームの感じでお話をさせていただきますね。



ただいて、皆さんが健康な体と心であることによっていろんなことに気付き、声をかけることができる。それが地域の防犯に繋がりますので、皆さんがまず健康であること、地域の人たちが健康であることっていうことが大切だと思います。

そして、安全によって私達が安心な暮らしの中で過ごすことができるというふうに思っております。

以上をもちまして“体と心の健康で安心なくらし”の話を終了とさせていただきます。皆さん、本日は最後まで御清聴、誠にありがとうございました。



「体と心の健康で安全なくらし」をテーマに講演



そろそろ1時間の時間が参りました。今日はですね、“体と心の健康で安心なくらし”と題してお送りしました。今日皆さんにお伝えした食のこと、それから睡眠のこと、これは是非、皆さん今日からできることが何か一つでもあったら実践してい

司会) 佐藤様、ありがとうございました。生活に直結する話がたくさんありましたので私もたくさんメモを取りながら聞かせていただきました。

食も睡眠も自分で自分を導いていける、作っていけるというのが今日のお話を聞いてとてもよく伝わりました。

しかも、それで健康であることが安全にきっと繋がっていくと思いますので、今回のお話、今後の安全で安心な地域づくりの取り組みの参考として活かして参りたいと思います。

皆様、あらためまして講師の佐藤麻美様に大きな拍手をお願いいたします。



8. 閉会

司会) 以上をもちまして、令和4年安全安心なまちづくりの日道民の集いを終了といたします。本日は御参加いただきまして誠にありがとうございました。

今後とも犯罪のない安全で安心な北海道の実現に向けた取り組みに御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

お帰りの際はお忘れ物ないよう、また、交通事故などに十分お気を付けください。

本日は誠にありがとうございました。

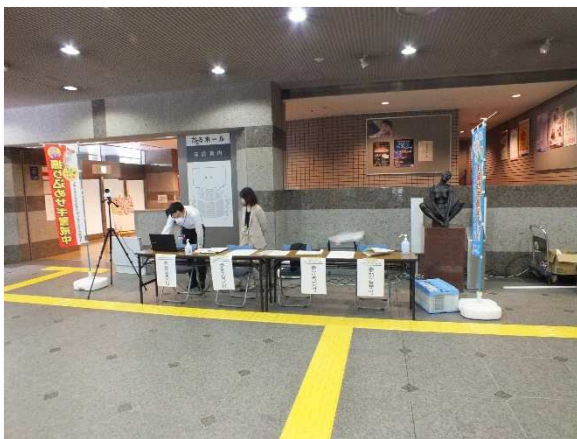


令和4年度(2022年度)北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞表彰

令和4年(2022年)10月11日



パネル展示(ホワイエ)



参加者受付(1Fロビー)